

# 要介護高齢者等のための介護サービス開発プロジェクト(LTOP)について

今後高齢化が急速に進むタイにおいて、2011年11月に終了した高齢者プロジェクト(CTOP)の経験も踏まえ、新たに「高齢者介護」に焦点を当てたプロジェクトを2013年1月から開始し、我が国の知見・経験をタイに伝達していく。

## I. 介護サービスモデルの開発

家族介護者を適切に支援し、要介護高齢者を地域で支え続けることを可能にするための「プロの在宅介護サービスの導入」を見据えた、モデル事業を実施

- ◆ 適切なケアマネジメントに基づく、プロのワーカーによる介護サービスのモデルを開発し、複数のパイロット・プロジェクトサイトで実施・検証
- ◆ 利用者の状況を綿密にフォロー・記録し、サービスの効用・便益をエビデンスに基づいて説明

## II. 先進的な介護技術の伝達

日本における、先進的な介護関連技術(ケアマネジメント・看護・リハビリ・認知症介護・福祉用具の導入など)の知見を、本邦研修、人材養成テキストの開発を通じてタイ側に伝達

## III. 政策提言

介護に関連する様々な政策課題に関し、日本における豊富な政策対応等の経験を、セミナー等の開催を通じて日タイの政策担当者や学識経験者の間で共有する等を踏まえ、タイにおける将来の政策対応に関し政策提言を行う。また、プロジェクトの成果を、セミナーを通じて他の東南アジア諸国に対し発信し、共有する。

## 要援護高齢者等のための介護サービス開発プロジェクト

(Project on Long-term Care Service Development for the Frail Elderly and Other Vulnerable People)

### プロジェクト概要

「コミュニティにおける高齢者向け保健医療・福祉サービスの統合型モデル形成プロジェクト(2007～2011年)」の成果であるコミュニティベースの統合型サービスを活かしつつ、要介護高齢者を対象とし、財政的にも持続可能な介護制度を提案する。パイロットサイト(6地域:チェンライ、コンケン、ノンタブリ、スラタニ、ナコンラチャシマ、バンコク)において「モデル・サービス」が開発され、効果的・持続的な形で実施する。ケア・ワーカーとケア・コーディネーターの養成プログラムを開発する。

【期間】 2013年1月14日～2017年8月31日(4年8か月間)

### 【目標】

高齢者介護に関する政策提言が関係省庁に受理される。

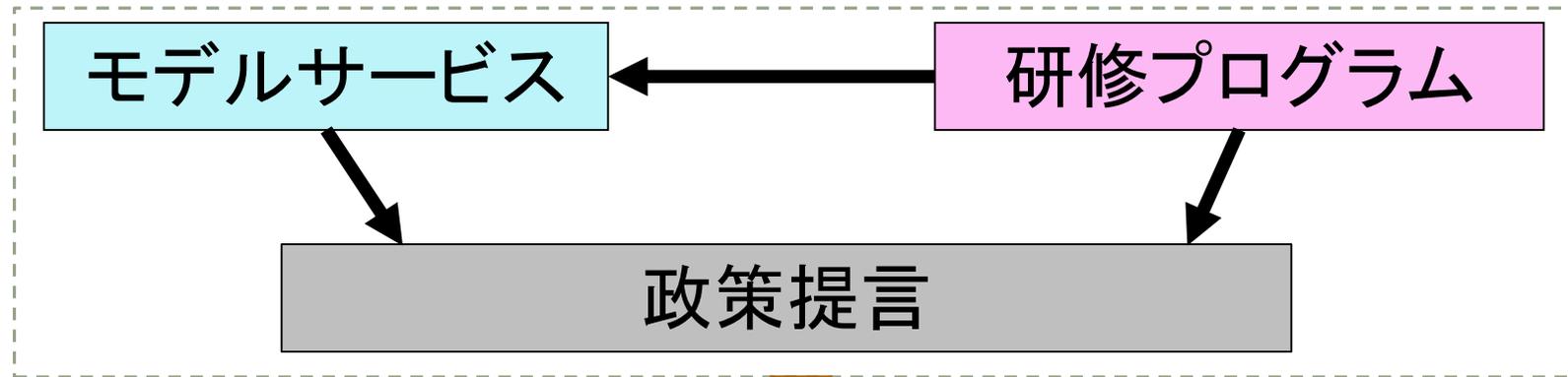
### 【成果】

- 1 パイロット・プロジェクトによるエビデンスと日タイ両国の知見に基づいて、高齢者介護に関する政策提言が作成される
- 2 パイロット・プロジェクト・サイトにおいて、「モデル・サービス」が開発され、効果的・持続的な形で実施される
- 3 ケア・ワーカーとケア・コーディネーターの養成プログラムが開発される



# LTOPプロジェクトに期待される目標

LTOPプロジェクトの成果



プロジェクトの目的

政策提言が関係する省庁や組織に  
受け入れられること

上位目標

政策提言がタイ政府の政策に  
反映されること